

令和4年9月2日（金）

あさひの日だまり

NO.18

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～なかよし旬間へ向けてお話をしました～

なかよし旬間に合わせて校長講話の時間を取っていただいたので、お話をさせてもらいました。今日のあさひの日だまりでは、お話の内容とその時の子どもが答えてくれたことを記します。もしよろしければ目を通していただけたら幸いです。

今日は、なかよし旬間に合わせて、お話をします。

まずみなさんに質問をします。お友だちとのことで悲しい気持ちになったことのある人はいますか。

「ある～」 「ない」 そんなつぶやき聞こえてきました。あるなって手をあげてもらっていいですか。

（多くの児童が手をあげてくれました）たくさんの人が手をあげてくれました。ありがとうございます。

これから2枚のイラストを見ながらお話をします。そのあとで、どんなことを感じたかみなさんに聞きます。よく見て、よく話を聞いて後から感じたことをお話してくださいね。

後ろに見えるこの人が、先生に相談しています。

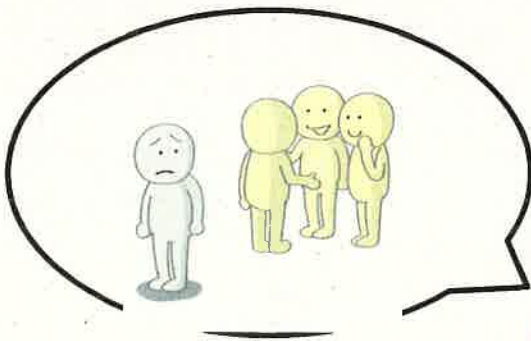


今日学校へ来たくありませんでした。それにはわけがあるんです。聞いてください。

私はいつも〇〇さんと〇〇さんと3人一緒に学校から帰っています。昨日の帰り、3人で一緒に帰ろうと思って私は待っていました。だけど、私だけ1人おいて、2人でこそこそ話しながら、さっさと速足で帰っちゃったんです。仕方がないから私は1人で家へ帰りました。とても悲しかったです。だから今日は学校へ来たくありませんでした。私はあんなひどいことをする2人が許せないです。もう友だちやめます。

2枚目のスライドです

前に行く2人のうち左側のピンク色の服の人が話しています。



ねえねえ、今日ね、2時間目休みにね、3人でコソコソ話してるのが聞こえたの。きっと私の悪口を言ってたんだと思う、だってこっちをちらちら見ながらニヤニヤして話してたもん。それに私が近づいていったらみんな廊下へ一緒に出ていったもん。それでね、その中に、〇〇さんがいたの。もう〇〇さんとなんて絶対一緒に帰りたくない。これからはいつも2人で帰ろうね。

さて、みなさんどんなことを感じましたか？

出された意見を紹介します。

- ・仲間外れにされた気持ち。→なるほど、この中に、仲間はずれがあるぞって思ったんだよね。ちゃんとそれが分かるんだね。すごいね。
- ・自分は何もしていないのに、寂しい気持ち。→そうか、寂しい気持ちでいるんだってことを感じたんだね。後ろの人の気持ちを考えてあげているんだね。
- ・やなきもち→なるほど、こういうことが起きてることにやな気持ちがしたんだね。ちょっとみんなに聞いてみるね。同じように、やな気持ちになった人？（多くの児童が手をあげました）なるほどね、こういうことがあるとみんなやな気持ちがするんだね。
- ・なんか、青い服の人も、ピンク色の服の人も、どっちも悪い気持ちになった。→どっちも悪いって思ったんだ。そういうことを自分なりにちゃんと考えられるってすごいことだね。
- ・互いに傷つけあってるって思いました。→そうか、どっちも悪いよって考えた人もいたし、どっちも傷つけ合ってるよって感じた人もいるんだ。傷つけあってるよって感じられる心って優しい素敵な心だね。
- ・オレンジ色の服の人が一番かわいそう。（聞き役に回っている人）→なるほどな一、この人の立場に一番かわいそうだって心を寄せてくれた人もいるんだね。他にもそういう人いるかな。

みなさんに質問するよ。友だちから嫌な思いや、悲しい思いにさせられたとき、友だちにも悲しい思いをさせちゃおう、仕返ししちやおうって思ったことないですか。ちょっと思い返してみ下さい。

（あるある、というつぶやきが聞こえてきました）

さてそろそろお話をまとめるね。

誰の心の中にも、みんな同じように2つの心があるんです。それはね先生の中にもあります。大人になってもみんなと同じなんです。まず一つはね、悲しい思いをしているお友だちを見て、かわいそう。こんなことっていけないよって思う温かくて優しい心です。そして、その心のすぐ隣には、お友だちの悲しい思いをさせてしまおう、仕返しをしてやろうとする素直な心です。こういう二つの心があることはおかしいことじゃないんです。自然なことなんです。こっちの心が顔を出してとっても優しい顔になったり、こっちの心が顔を出してとっても厳しい表情になったりするんです。

さあ、みなさんに最後の質問をします。学校って楽しい。学校って楽しくない。みなさん、どっちの学校が好きですか。これは手をあげてもらおうかな。（ほとんどの児童が楽しい学校に手をあげました）

そうですね、楽しい学校が好きですよ。そう思ってくれていることが先生とっても嬉しいです。

楽しい学校をみんなで創っていきましょう。なかよし旬間では、自分の心の中をじっと見つめて、みんなが楽しいと思える学校になるように勉強をします。

とっても大切な勉強です。頑張ってくださいね。先生の話は以上です。

～9月1日は防災の日でした～

非常食を食べて、防災に関心を寄せました



9月1日は防災の日でした。給食の先生が、備蓄されている非常食を給食で食べる体験をしてみようという取り組みをしてくださいました。当日は、五目御飯を食べることになりました。私も五目御飯を食べました。ちょっとぼそぼそしていて、正直に言うと、もしこれがしばらく続く食事になったら。想像してみると、ちょっと大変そうです。以前の乾パンに比べるとずっと改良されていました。贅沢は言えません。それはよくわかっています。災害時のことを想像すればそれどころではありません。私は、ふと、自分を災

害ということの外に自覚しました。こうやっていざというときの準備をちゃんとして下さっていることに感謝しなくてはなりません。私にとってこの試食の機会は、いざというときの心の準備をしっかりしておかなくてはと考える大切な機会になりました。写真は、教室での様子と職員室の様子です。

